

2023 年 7 月 4 日
株式会社三菱総合研究所

「ICF Business Acceleration Program2023」を開催

イノベーションとビジネスで社会課題を解決するアイデア募集

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二、以下 MRI)が運営する未来共創イニシアティブ(以下 ICF)は、さまざまな社会課題をイノベーションとビジネスで解決するアイデアを募集する「ICF Business Acceleration Program 2023」を開催します。



MRI は、多様なステークホルダーが参加するオープンイノベーションおよび共創活動を通じて、社会課題の解決・社会実装、コレクティブインパクト創出を目指す会員プラットフォーム“[未来共創イニシアティブ](#)”(Initiative for Co-creating the Future、以下 ICF)を運営しています。

ICF Business Acceleration Program は、この ICF 活動の中核プログラムの一つで、これまでに延べ 950 件以上の提案応募を受け付けました。その中から社会課題解決に資する有望かつユニークなビジネス提案を表彰・支援※1するとともに、MRI および ICF との共創活動を実施してきました。昨年度は、これらの取り組みや成果の一端を広くお伝えすべく「MRI DEMODAY」※2 を初めて開催しました。

9回目となる今年度も、社会課題解決へ高い志を持つスタートアップと共に「未来のために何をすればよいのか」を考え、行動し、“技術・イノベーション”の社会実装を追求します。560 を超える多様な ICF 会員のネットワーク基盤と MRI の専門分野の知見を統合し、より大きな社会インパクトを引き出す共創活動に、熱意ある皆さまのご応募をお待ちしています。

※1 [「ICF Business Acceleration Program2022」受賞者決定イノベーションとビジネスで社会課題解決を目指すスタートアップを支援 | 三菱総合研究所 \(MRI\)](#)

※2 [MRI DEMO DAY 2023 イベントレポート | 未来共創イニシアティブ～プラチナ社会を実現～](#)

【募集概要】

目的：有望なスタートアップの発掘・支援を通じて MRI・ICF 会員との共創を促進し、社会課題を解決する

募集期間：7/4(火)～8/22(火)

応募内容：ICF が重点的に取り組む 6 分野(「ウェルネス」「水・食料」「エネルギー・環境」「モビリティ」「防災・インフラ」「教育・人財育成」)をベースに、「100 億人が 100 歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に寄与する社会課題ソリューション(ビジネスアイデア)を募集

評価基準：①社会的インパクト(解決する社会課題の深刻度やボリューム)

②事業性(ビジネスの特徴・優位性)

③チーム(メンバーの熱意、事業推進力など)

【プログラムの流れ】

1 次・2 次審査にてファイナリスト(最終審査会に進出する企業)を選考し、当社研究員がメンタリングを実施後、最終審査会に臨んでいただきます。その後、提案ビジネスと MRI・ICF 会員との共創活動を実施、共創成果があがった企業には公開イベント「DEMO DAY」において発表していただきます。なお、ファイナリストとの共創活動においては、MRI からの出資を含む協業・連携に進む場合があります。



【プログラムにおける共創パターンと事例】

MRI および ICF とスタートアップのそれぞれの強みやアセットを活かして、共創活動を行っています。

共同研究 パートナー探索型	顧客提案 パートナー探索型	新事業 パートナー探索型	コンソーシアム パートナー探索型
MRIの考える価値・構想をスタートアップとの連携を通じて具現化する	共創PJTを通じて大企業や官公庁等向けに社会課題解決を実現できる提案を実施する	お互いの強みを連携して、社会課題解決につながる新規サービスを創出する	あるべき社会の実現に向けて必要な研究・事業開発を、お互いの強みを活かしながら実施し、新たな市場を創造する
			
- New Ordinary - MRI提唱「factfulness」に向けた共同研究	- テイラーワークス - 大学における研究拠点間連携のための共同での業務遂行	- ヘルスビット / UNTRACKED - 健康経営施策パッケージの構築	- FemTechスタートアップ - ジェンダード・イノベーション コンソーシアム構築
MRIはヒトの行動起点によるウェルビーイング向上と持続可能な社会実現を目指す「factfulness」構想を提言中。New OrdinaryのAIレコメンド・アプリとMRIの効果測定モデルといった互いの強みを組み合わせ、アプリの改良・実証のための共同研究を実施。今後、交通事業者や自治体等でのアプリ導入、そして「factfulness」実現を目指していく。	MRIは産官学連携拠点コンソーシアムにおける「2025年日本国際博覧会」に向けたコンテンツ出展に係る企画・検討業務を官公庁から受託。同業務における拠点間のコミュニケーション活性化を促すため、「共創を生み出すプラットフォーム」を提供しておりBAP2022ファイナリストであるテイラーワークスと連携中。	MRIは、近年の企業における健康経営への取組需要の高まりを受け、社員の健康状態(フィジカル・メンタルの両面)を把握し、行動変容を促し、維持・改善、効果測定に資するサービス・ソリューションを提供するサービスを検討。BAP応募企業であるヘルスビット社、BAP2022ファイナリストであるUNTRACKED社等とともに構築中。	ICFは女性の健康・活躍を重点課題と位置づけ、同じ志を持つ大企業やベンチャーとの共同研究や協業等を実施。BAP2020より毎年、ファイナリストにFemTechスタートアップを採択し、各社との共創を継続中。 今後は、女性だけでなく、男性も含めた性差の違いに着目するジェンダード・イノベーションの概念にも活動の幅を広げていく。

プログラムの詳細は ICF Business Acceleration Program2023 の特設サイトをご覧ください

<https://eiicon.net/about/icf-acceleration2023/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

未来共創本部「未来共創イニシアティブ」事務局 加藤、水田、亀井、八巻、中村

電話：03-6858-3557 メール：icf-inq@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

メール：media@mri.co.jp